

～ 第3回かわにし市民会議 改善提案シートまとめ～

【第3班 住宅都市としての魅力向上】

1 くらし

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
安全安心	災害の危険性を認知できていない	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民と協力して歩くなど、自身でも危険を確認する。 ・防災アプリの開発 ・防災マップの確認 ・防災の準備の備蓄 ・自治会の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人として感じたことをまとめて、発信する。 ・地域版防災マップを作成する ・暗闇安全マップの様な視点で点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・精密度の高いマップの作製 ・防災マップ作成の専門家の育成 ・出前講座を行う ・小学校で取り組む ・防災マップを活用しやすい形で公開 ・防災マップ作りの際のハイキングタイプの住民参加 ・災害体験ができる場所を設ける（シュミレーションを作り動画をyoutubeにアップ）
	避難訓練が固い、マンネリ化している	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しないなら、自助力を上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・固くならないよう、お祭り感覚で楽しめるイベント化
	地域の防災力	<ul style="list-style-type: none"> ・自助、近助等各自できることを把握する ・保護者が子どもを守るような視線で地域の安全を確認する ・何らかの方法で災害情報を受け取る ・素早く非難する ・水、食料を備蓄する ・声を掛け合う ・ご近所と密に連絡をとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と共に多くの人に参加できる防災訓練を行う ・地域の住民を巻き込んで施策展開する 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像で災害を知ることができるコンテンツを作る。
	災害時の情報収集・発信	防災マップ等を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の近所同士の顔合わせ ・近所での声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から興味を引くような情報発信を行う ・災害情報をピンポイントで発信する ・避難のタイミングと場所を同時に開示 ・ネットでの詳細情報開示 ・ダムの放水調節を正しくアナウンスする ・いろいろな情報インフラを活用する ・DMやそのうち要介護者の情報を関係諸機関と共有する

1 くらし (続き)

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
安全安心	避難所			<ul style="list-style-type: none"> ・避難所にペット同伴で来られる状況作り ・犬猫等の食料の備蓄 ・防災マップに避難所の設備の状況を加える
	空地		<ul style="list-style-type: none"> ・遊水池の働きを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を遊水地や公園として活用する
交通	車の渋滞が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・移動の際に公共交通機関、自転車を利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗りを推進 	
	交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ・信号を守る ・横断歩道を使う 	小学生等に通学時に見守り隊を立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許、更新基準を作る ・信号機、横断歩道の適正な配置
	自転車マナーを守ることができていない	自転車マナーを見直す	違反しないような雰囲気づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起
住居	ニュータウンの老朽化が進んでおり、活気がない			<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、老朽化資産の運用を検討する(建物診断による耐用年数の保証制度やリノベーション業者認定制度の創設など) ・ニュータウン運営のため(株)を立ち上げる
美化	道が汚い	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てをしない 	<ul style="list-style-type: none"> ・週に一度掃除を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起

(意見)

- ・京都の祇園祭は後祭の日に火災訓練をしていた。地域力の違いを感じた。
- ・東日本大震災経験者は避難訓練の際にヘルメットを持参していた。危機感の違いを感じた。
- ・災害時の避難情報はどの地域団体に情報を流しているのか
- ・生垣を助成するような補助、駐車場に保水性を持たせる義務等を設けてもいいのではないか

2 情報

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
市の方針	将来のまち(ニュータウン)の目指す規模がわからない			<ul style="list-style-type: none"> ・まちに対するコンセプトを定め、対策を講じる(ニュータウンで実験的に施策を実施し、広めていく)
公開・広報	市の情報発信能力が弱い	<ul style="list-style-type: none"> ・不思議に思ったら検索する ・アンテナを広くする ・広報誌を読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の持っている情報を見られる方法を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報は色々な場所に掲示し、細かな場所にもアピールする。 ・情報は今まで通り発信していく ・情報発信の改善をアンケートで受付ける ・興味を持った情報を調べる仕組みを作る
	情報発信の平等性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会への興味を持ってもらうようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を通じなくても確実に情報を得られるようにする。

(意見)

- ・近畿圏の周辺市町の人口はどう変化しているのか、衛星都市の今後の推計はどう考えているのか

3 地域

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
つながり	地域交流が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方にあいさつ、声掛け ・自治会加入 ・近隣住民と話す機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすいイベントの計画 	
	自治会員未加入者への支援 (意見が反映されていない)		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者でも参加できる行事を行う ・自治会の動きをPRし、民意が出せるように工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者への支援の仕組みづくり ・自治会に民意を上げる啓蒙をしていく

(意見)

- ・自治会が何をしているかわからない。
- ・自治会はだれでも加入できるのか。加入条件があるのかわからない。
- ・自治会に入らない人の理由は何か。
- ・そもそも若い人にメリットはあるのか。
- ・自治会未加入者などの地域との関わりが少ない方の不安や不足している部分を周知することで、多くの意見が集まるのではないか。

4 その他

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
その他	自然を活かせていない		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に川を定期的に掃除する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のある住宅地を前面に出す ・漁業組合復活に協力する
	選挙のネット投票ができない			